

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	商学部	身分	准教授
氏名	西村 陽一郎		
NAME	NISHIMURA, Yoichiro		

1. 研究課題

（和文）社長交代から見たわが国企業の特許戦略に関する実証研究

（英文）An Empirical Study on Patent Strategies of Japanese Firms from the Perspective of CEO Succession

2. 研究期間

2年間（2020～2021年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究の目的は、経営者に就任する以前に知財活動に関わる経験をもった人物が新社長として就任するとどのような知財マネジメントを採用してくるのかを検証することを目的とする。

予備的な分析結果によると、知財経験がある経営者に交代すると、そうでない経営者に交代した場合と比較して、知財マネジメントは交代後数年間大きく変動する。そして、どちらかという、意外なことに知財マネジメントの変動の仕方が消極的であることが明らかとなった。企業の知財部は特許出願を1つの目標にしているため、知財部任せだと過大な特許出願になりがちである。しかし、本研究の予備的な分析結果は、経営トップの知財経験によって、知財部による過大な特許出願に歯止めをかけられることを示唆する。そして、ヒトの過去の経験によって、ヒトの行動が変化することも示唆される。

（英文）

This study examines whether or how past experience regarding IP activity is more likely to affect corporate IP management after CEO succession. Our preliminary result shows that the change in IP management initiated by CEOs with IP past experience is greater than by CEOs without IP past experience, indicating that CEOs with IP past experience is less likely to file patent applications. This result indicates that IP past experience of CEO can control excessive patent applications filed by the IP department. It also suggests that human behaviors are likely to be affected by human past experience.